2023年10月22日
神楽の今とこれから「見える化」会議

事前アンケート結果

事前アンケート結果

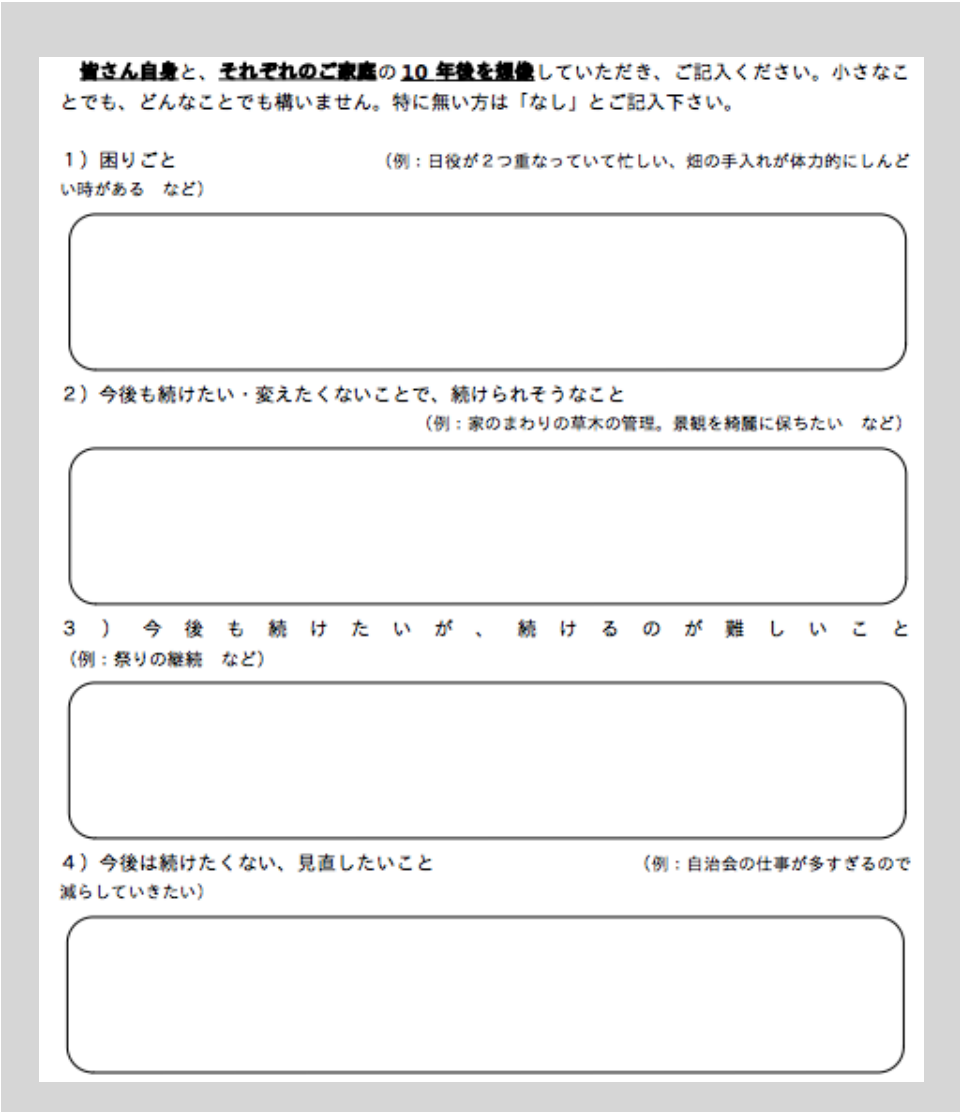
神楽の今とこれから「見える化」会議開催前に事前記入用紙（右図）を作成し配布、集取した。

・説明文

皆さん自身と、それぞれのご家庭の10 年後を想像していただき、ご記入ください。小さなことでも、どんなことでも構いません。

・項目

1）困りごと
2）今後も続けたい・変えたくないことで、続けられそうなこと
3）今後も続けたいが、続けるのが難しいこと
4）今後は続けたくない、見直したいこと



皆さん自身と、それぞれのご家庭の 10 年後を想像していただき、ご記入ください。小さなことでも、どんなことでも構いません。特に無い方は「なし」とご記入下さい。

1）困りごと　（例：日役が２つ重なっていて忙しい、畑の手入れが体力的にしんどい時がある　など）

2）今後も続けたい・変えたくないことで、続けられそうなこと
（例：家のまわりの草木の管理。景観を綺麗に保ちたい　など）

3）今後も続けたいが、続けるのが難しいこと
（例：祭りの継続　など）

4）今後は続けたくない、見直したいこと　（例：自治会の仕事が多すぎるので減らしていきたい）

困りごと

現状の自治会活動の継続が難しい

▶負担集中、人出不足、役員が不在となる可能性がある

・村の役職が重複したり、連続したりする。
・人手不足あるいは、村の役職が不在になる。
・人口（軒数）の減少により山林、田畑野維持管理や行事祭事の実施が困難。

▶高齢化により負担が増える

・人が減り、体力もおとろえていくため川掃除が大変
・10年後を考えると自治会の行事に全部参加できるか分からない
・高齢化で自治会役員になる人が少なくなる。

▶役員や日役が日常生活へ負担に、悪影響する

・日役のために仕事を休まなければならない（日役に出れば給料が減る）。
・1人暮らしなので日役を休めば不参金を取られる（代われる家族がいない）。
・役が回るときに引き継ぎが口伝えなので曖昧になりやすい

困りごと

農地や家などの資産管理が難しくなる・不安がある

▶高齢化と担い手不足による田、畑、山の管理問題

・仕事エリアが広範囲になり、田畑等の管理ができず頼んでいる人も高齢化して困難になっている。
・河川、市道などの草刈り、田畑の維持（体力維持も関わる）
・跡取りがない。山や田畑の仕事をする人が少ない。
・田の管理（農作業）ができるか体力的に心配。体力が落ちてきて無理がきかない
・田畑の荒廃化。力になりたいが私も10年後歳をとっている。
・田畑の作業がしんどい
・私有地が少なくなく、草刈りなど維持管理に体力的、時間的、金銭的などの面で対応できないことがあること。今はなんとかやりくりしているが、今後どうなるか心配している。
・所有している農地の管理が出来ていない（借用農地は既に解約済み）
・昔は山林や田畑は貴重な財産であったが、今は処分をしようとすると考えられない低価格で売買されている。
（言い換えると地元住民が自分たちの土地財産の値打ちを下げていることになる。豊かな神楽の財産を地元住民で守っていくことを考えないと、若者が見向きもしない。寂れた魅力のない地域になってしまう。）

困りごと

農地や家などの資産管理が難しくなる・不安がある

▶高齢化と担い手不足による田、畑、山の管理問題

・仕事エリアが広範囲になってきており、田畑等の管理ができず、頼んでいる人も高齢になり困難になっている。
・河川、市道などの草刈り、田畑の維持（体力維持も関わる）
・跡取りがない。山や田畑の仕事をする人が少ない。
・田の管理（農作業）ができるか体力的に心配。体力が落ちてきて無理がきかない
・10年後の自治会活動の維持への不安。田畑の荒廃化。力になりたいが私も10年後歳をとっている。
・田畑の作業がしんどい
・私有地が少なくなく、草刈りなど維持管理に体力的、時間的、金銭的などの面で対応できないことがあること。今はなんとかやりくりしているが、今後どうなるか心配している。
・所有している農地の管理が出来ていない（借用農地は既に解約済み）
・昔は山林や田畑は貴重な財産であったが、今は処分をしようとすると考えられない低価格で売買されている。
（言い換えると地元住民が自分たちの土地財産の値打ちを下げていることになる。豊かな神楽の財産を地元住民で守っていくことを考えないと、若者が見向きもしない。寂れた魅力のない地域になってしまう。）

▶空き家と景観の悪化

・空き家が多くなりそのまわりの草が生い茂り、動物のすみかになってしまわないか？
・親の亡くなった後、一人暮らしになるので、家事や家の維持問題が出る。
・家終い、墓終い。
・空き家が増えて管理が出来ない

困りごと

家族の介護の負担

・家族の介護
・高齢化により介護等の負担が発生する
・実家の親の面倒を誰が見るか

子どもが少ないことによる不便さ・役の負担

・子供がいない
・学校、駅までの交通が不便なため、現在の子供たちは仕方なく通っているが、自分の子供にその生活をさせたいと思えないと言われる。
・学校PTA役員を各自治会内でそれぞれ選出することになっているが、児童生徒数が少なく担い手がない。

困りごと

個人の生活の不安

▶体力的に生活などがしんどくなる
・何をするにも体力的に無理。
・現在、私たち夫婦2人暮らし。10年後も2人のみの可能性大。
・家族が入院中などで独り身の場合、自治会行事と私用が重なり、精神的肉体的にどちらを優先するか悩む
・自分が10年後生きているかどうか？想像しがたい。

▶収入面で将来が不安
・国から取り残されていくことへの不安がある。
・会社退職後の収入確保、時間つぶし？
・先々収入源が心配になっていく。
・除雪を奥までしてほしい。

今後も続けたい・変えたくないことで、続けられそうなこと

田畑の管理、農業をできる範囲で

・自家栽培の野菜については、母親が管理しているが、母親が元気なうちにノウハウを
　教わっておきたい
・営農組合を継続し、遊休地を少なくし景観を維持。田畑は営農組合にお願いする。
　（息子が継ぐ）
・自分の農地を守ること
・田んぼの管理が大変ですが、続けられる体制が必要
・趣味の農業
・畑の管理と草木の管理。
・野菜や花作りは作業ができる範囲に縮小中。
・居宅や田んぼ（農地）をきれいに管理して、害獣の侵入を防ぎ、気持ち良い環境作りが大事
・景観を保ちたい（ソーラーパネルは嫌）

今後も続けたい・変えたくないことで、続けられそうなこと

墓地の管理、清掃し維持する

・自宅、山林、田畑、墓地は、できるだけ維持管理をして持ち続けたい。
・食糧難になっても、自分の田畑を持っていることで賄えることや先祖を敬う大切さを子供たちに伝え、
継承させたい。そのために自分は土日には畑仕事と草刈りを息子に手伝わせたり、墓掃除をしている。
・共同でのお墓掃除（無理なく続けられたらいいな）

家の周りの管理

・家の周りの掃除
・農地の管理を稲作でしていきたい。

自然の保持

・田舎の良さ、自然を残したい
・川の水を大切にしたい
・源流の清掃と維持

神社を守る

・浄丸神社の保全

防災

・火の用心

今後も続けたいが続けるのが難しいこと

祭礼や伝統行事を現状のまま維持すること

・祭礼など、高齢者には石段はきつい。若い人でもきついので、下の方でできたらと思う。
・太鼓神輿の乗り手（小学生）が少なく継続が難しいのではないか。
・公民館活動、祭礼などの行事は続けたいが、体力不足で難しい。協力意識も薄れているように思う。
・祭りについては、青年の人数の減少や少子化によって、今までほどの人数が集まらないので、縮小は否めない。
・農業や祭礼

自治会活動を現状のまま維持すること

・土日が仕事なので日役の参加などが難しい。
・住民の高齢化割合が増え、各団体の継続が困難。
・公民館等の人数、参加型行事についても選別していかないと継続は困難。
・子ども会活動。
・ボランティアは時間と金銭が比較的融通がきく人がする。無理してはいけない。
・伝統行事、環境整備作業

今後も続けたいが続けるのが難しいこと

現在の生活環境の維持

・買い物や病院への通院（除雪を）
・体力の維持
・自分がいなくなったら、住んでいる家が空き家になる

田畑・農地・山林・河川の管理

・河川、環境整備や農業
・田畑の管理、農機具の維持。休耕田が増えると草が増え、景観が寂れた村と思われる
　→人が近づいてこなくなる
・河川の草刈り作業について何とか現在はできるが、10年後も同じ作業量ができるかと考えると難しい

お寺と神社の管理・継承

・集落の寺、神社及び共有の山などの維持管理と表示の継続。日本の伝統文化の継承は大事であると考えるが、過疎高齢化が続くと、住民負担が金銭的や精神的に厳しくなり心配である。

今後は続けたくない、見直したいこと

自治会行事、役員の体制は見直す

・自治会の仕事が多すぎるので減らしたい（行事や会議の頻度）
・世帯数減少・高齢化に伴い、自治会役員分担の見直し
（現在進行中であるが市からの依頼内容も多く負担になっている）
・自治会の仕事の負担感から、若者が出ていくのでは？

自治会活動への女性参加促進をしていくこと

・男性だけが自治会の役割を担っていること
（変えないと立ち行かなくなる。女性からは声を上げにくい。上げたいが受け入れられない気がして弱気になっている。でも、意識改革が必要。女性でもできることはあると思う。）

事前アンケートについて
特に多かった意見

田畑・農地・
山林・河川
の維持・管理

自治会活動の
継続・負担
について

自分自身の
将来の生活・
暮らしの不安